

【開会 午後4時00分】

- 1 開 会
- 2 出席委員の報告
- 3 競輪事業部長挨拶

○田村部長 皆様、こんにちは。今年の4月に着任いたしました函館市競輪事業部長の田村でございます。函館市競輪運営協議会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日、委員の皆さまにおかれましては、何かと大変お忙しい中、ご出席賜りまして、誠にありがとうございます。

また、日頃より、市営函館競輪の運営にご理解とご協力をいただきまして、心より感謝を申し上げます。

さて、令和5年度の市営函館競輪につきましては大きなトラブルもなく5月にGⅢグレードの記念競輪を開催しましたほか、7月には2年ぶりとなる5度目のGⅡグレードの特別競輪サマーナイトフェスティバルを開催し、有名芸能人を招いたステージショーを行うなど開催を盛り上げることで多くのお客様にご来場いただき、競輪の魅力に触れていただくことができました。また、直接来場できない全国の競輪ファンの方々に対してもインターネット番組等を通じて函館競輪の魅力を発信することで目標を上回る売上を上げることができたところでございます。その他の開催につきましても、昨年10月25日をもって、全日程を終了することができたところでございます。

年間売上につきましても、令和5年10月12日付で弾力条項を適用し、売上予算を当初予算の311億円から12億円増額し、323億円に変更しており、全開催終了後緒売上については約324億円と令和4年度の約285億円を大幅に上回り、函館競輪史上第2位の売上となったところでございます。

その結果、一般会計への繰出しを3億9500万円と昨年度の2億円から大幅に増額したほか、競輪場施設の計画的な改修を実施していくための

施設整備基金への積み立てにつきましても約3億9,500万円を積み立てることができ、現在の基金残高は約23億円となったところです。今後とも一般会計への繰出し、基金の積み立てを継続してまいりたいと考えております。

令和6年度の市営函館競輪におきましては、5月にGⅢグレードの函館記念競輪をナイターで開催したほか、6月には2年ぶり3回目となる、GⅢナイター函館ミリオンナイトカップを開催し、有名芸能人を招いてのステージショーを行ったほか、業界初のアベマTVによる現地公開生放送を配信するなど、開催を大いに盛り上げることで、多くの皆様にご来場いただき、競輪の魅力に触れていただくことができました。最終開催まで残り6開催ございますが、大きな事故やトラブルがないよう開催業務を進めてまいりたいと考えておりますので皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

また、令和7年度につきましてはGⅠグレードの特別競輪オールスター競輪を函館競輪場で開催することが決定いたしました。函館競輪場においては、平成24年度に開催した高松宮記念杯以来のGⅠ開催となり、オールスター競輪につきましては、史上初の開催となります。職員・関係者が一丸となって積極的な誘致に取り組んだ結果、開催場として選定されたものと考えております。函館競輪の魅力だけではなく、函館市の魅力をより一層発信する大きなチャンスでありますので、このチャンスを十分に活かし、令和7年度の函館競輪を大いに盛り上げるとともに北海道で唯一の競輪場を将来に渡って継続することができるよう、今後とも努力してまいりますので、皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

本日の報告事項は、令和5年度自転車競走事業特別会計決算（案）および令和6年度の市営函館競輪売上状況、ならびに令和6年度下期の函館競輪開催日程でございます。本日は限られた時間ではございますが、どうぞよろしく願いいたします。

## 4 議題

### (1) 報告事項

#### ① 令和5年度自転車競走事業特別会計決算（案）について

（資料「函館市競輪運営協議会提出資料」に基づき小林事業課長から説明）

○今井会長 質問等ないか

○鶴野委員 売上は歴代2位とのことだが、資料の10億6,800万円という収益については歴代何位であるのか。

○小林課長 歴代収益までは把握しておらず、正確な順位をこの場ではお伝え出来ないが、令和に入ってから最高である。

○鶴野委員 了解した。

#### ② 令和6年度市営函館競輪売上状況について

（資料「函館市競輪運営協議会提出資料」に基づき小林事業課長から説明）

○今井会長 質問等ないか

○鶴野委員 328億円の見込みというのは歴代1位か。

○小林課長 歴代2位である。歴代1位は350億円である。

○鶴野委員 今年度の当初予算については、硬く見積もった数字なのか。

○小林課長 不足が生じないように多めに見積もっている。

○鶴野委員 歴代1位の売上はなぜそんなに売れたのか。

○小林課長 平成5年に開催したふるさとダービーが大きな要因である。

○今井会長 このまま行けば、令和5年度の記録は第3位に落ちてしまうという嬉しい状況になるということですね。

○小林課長 その通りである。

○田村部長 来年度はG Iグレードの開催があり、今年度の他場実績で約150億円以上売れているので、我々も同じように売り上げることができれば、歴代1位も見えてくるのではないかと考えている。

○木田委員 インターネット売上がここ数年伸びてきており、他場のインターネットへの誘い込み等を調べたが、函館が特段突出して立派なことを行っているとは書かれておらず、どのような工夫をして売上を伸ばしているのか。

○小林課長 売上のほとんどがインターネット投票のミッドナイト競輪については、函館は他場よりも早い段階からインターネットテレビ番組と協力し、放映することで、ミッドナイトといえば函館というようなイメージを植え付けることができたと考えている。また、業界で初めての試みであるG IIIグレードでの現地生配信を行うなど、インターネットテレビを視聴しているお客様や民間ポータルを利用しているお客様から函館が力を入れていると感じていただけていると考えてます。

○境課長 CTCという公式投票サイトでのキャッシュバックキャンペーンも積極的に行い、投票とキャッシュバックをいいサイクルで回すことができていると感じており、CTCを含めたインターネット投票の売上は全国

4 3 場中第 7 位である。ナイター・ミッドナイトの開催を中心に行っている函館は大きく売り上げを伸ばしていると考えている。細かい要因については、今後も研究を続けたい。

○今井会長 他に質問等ないか。

○穴田委員 サテライト札幌やサテライト石狩の売上は臨時場外売上の中に含まれているのか。

○小林課長 その通りである。

○穴田委員 本場・サテライト松風の売上は分けることができないのか。

○小林課長 売上を分けることは可能である。

○穴田委員 サテライト松風の売上単体で見ると赤字だと聞くと、赤字なのに営業できるのは、本場の売上で補填しているからと考えるが実際どうなのか。

○田村部長 松風の売上が年々落ちてきているのは事実であるが、売上と運営費の差引で赤字かどうかを判断するが、本場とサテライト松風の運営経費についての細かい積算までは行っていないが、厳しい状況であることに間違いはないため、松風側と改善策を模索している状況である。

○穴田委員 了解したが、サテライト松風が無ければ本場の売上がよりよく見える気がしている。たまたま合計売上がプラスになっているが松風の売上は相当厳しいと感じている。今後の状況次第ではあるが、サテライト松風を手放す選択も視野に入れていただきたい。

③ 令和 6 年度函館競輪下期開催日程について

(資料「函館市競輪運営協議会提出資料」に基づき小林事業課長から説明)

○今井会長 質問等ないか

○穴田委員 競輪の普及活動に当たってガールズケイリンの発掘といった活動は市として行っているのか。

○境課長 ホワイトガールズプロジェクトという活動を選手会様と協力して行わせていただいているが、市の方としては、各高校などの学生に対して PR を行い、競輪選手という職業があり魅力的な職業であることを PR している。

○小林課長 補足として、今年度東海大学で萩原選手から競輪選手の職業紹介を行うなどしている。

○穴田委員 PR 活動は全道的に行っているのか。

○小林課長 JKA が主体ではあるが、帯広地区でのスケート等を行っている高校生向けにワットバイクを用いた練習方法を教えたり、職業紹介をした。

○穴田委員 スケートの選手は競輪の選手と共通する部分が多いと聞くので、勧誘活動を行い北海道のガールズ選手を増やしていただきたい。

○田村部長 選手の育成・発掘は大きな課題だと考えており、昨年から様々な学校やスポーツ団体向けに競輪選手になる手段等の周知が行き届いていない部分が多いと感じているので、今後も全道的な普及活動を増やしていきたい。

たいと考えている。

○小林課長　まだ計画段階ではあるが、学校祭や競技大会のような場でワットバイクを持ち込んだ足自慢大会のようなものを実施し、競輪選手を目指すきっかけ作りを企画しているところである。

○今井会長　他に質問等ないか。

○千葉委員　過去に行ったG Iでは来場者が1万人位来たと記憶しているが、駐車場は大丈夫か。

○田村部長　駐車場については現段階から検討を進めており、近隣の駐車場の借上げや、シャトルバスの運行など計画を進めているところである。

= 以上をもって終了 =